

中野区では2015年10月より 妊娠・出産・子育てトータルケア事業を開始しました

中野区では、妊婦さんとそのご家族が安心して赤ちゃんを迎えられるよう、また子育てができるように専門スタッフが妊娠期から相談をお受けし、お一人おひとりに適したきめ細かなサービスを提案しています。

妊娠

赤ちゃんを迎えるまでの



まずは妊娠届を出して母子健康手帳を受け取ります

健康を しっかりチェック

●妊婦健康診査・妊産婦歯科健康診査

区内在住の全ての妊婦（歯科は妊産婦）が対象。医療機関で受診を。
【妊婦健康診査】妊娠確定後の初回検査から計14回の検査を助成
【妊産婦歯科健康診査】妊娠中～出産後1年以内に利用可

もうすぐママの みなさんに電話します

●電話相談「プレママコール」(新規)

区内在住の妊娠20週以降妊婦が対象。すこやか福祉センター職員に
体調面その他の心配事の相談やサービスの情報提供を受けられます。

「かんがるープラン」の作成・産後ケア事業の利用登録

●妊娠中に面談を行った方へ、
「妊娠・子育て応援ギフト券(1万円相当)」が区から贈呈されます。

産前サポート事業、各種教室などに参加

●こにちは赤ちゃん学級

初めて赤ちゃんを迎える両親・家族が対象(妊娠
16週～36週の参加がお勧め)。沐浴実習、パパ
の妊婦体験など、すこやか福祉センターで。

●マタニティケアクラス(新規)

初めての赤ちゃんを迎える妊娠28週～36週の方
が対象。日曜日に開催。安産を目指した身体
づくりやおっぱいの手入れなど、堤式助産母乳
育児相談処(新井2-5-4)で。

●妊婦さんのためのゆるりヨガ&ストレッチ(新規)

妊娠20週以降で経過が順調な方が対象。
中部すこやか福祉センターで。

●プレパパ・ママ講座(新規)

先輩パパ・ママからお産や育児の話を聞くなど参加者同士の
交流を、中部すこやか福祉センターで。

●妊婦さんの歯っぴいお食事講座(新規)

お口のケアや食事・栄養などの体験・試食を、すこやか福祉
センターで。

出産

産後期



育児期

出生届と出生通知表(母子健康手帳と共に交付)を提出します

みなさんのお宅を訪問指導員が訪問

●こにちは赤ちゃん訪問 生後4ヶ月位が全員が対象。
出生通知表をもとに事前連絡の上で訪問します。

産後ケア事業

◆ショートステイ(新規)

生後4ヶ月以下が対象。出産後に
体力的に自信がない方、家族の手
伝いを見込めない方などが、宿泊
して、赤ちゃんのケアと母体の回復
ケアを受けられます。(延べ5日以内。
利用料1日3,000円)。松ヶ丘助産院
(松ヶ丘1-10-13)で。

◆デイケア(新規)

生後4ヶ月以下が対象。ママと赤ちゃんの
休養・回復のため、母乳・育児相
談等を日帰りで利用できます。(延べ
5日以内。利用料1日1,000円)。松
ヶ丘助産院、堤式助産母乳育児
相談処、中部・南部すこやか福祉
センターで。

◆ケア専門家派遣(新規)

生後6ヶ月以下が対象。家事や赤ちゃん、
上のお子さんの世話や育児相談
など、知識・技術を持った専門家から、
家庭の援助を受けられます(延べ15
時間以内。利用料1時間1,000円)。
自宅。※いずれも、住民税非課税
世帯等への助成あり

産後サポート

◆赤ちゃんが来た!(新規)

初めての育児中で生後2ヶ月～5ヶ月児のいる方が対象。赤ちゃんの
育ちや生活、悩み等を保育士等と一緒に情報交換する、週1回、
4週連続の講座。すこやか福祉センター、児童館で。

◆ほっこりーの(新規)

生後4ヶ月以下の赤ちゃん和妈妈が対象。助産
師と一緒に授乳や健康管理について気軽に
情報交換。すこやか福祉センター等で。

乳幼児健診、保健師等による継続支援、子育てひろば、各種相談・教室、グループ交流等

なかの子育て応援メール

出産予定日やお子さんの誕生日を登録すれば、おなかの赤ちゃんの様子や育児のアドバイスをメールでお届けします。
下記アドレスに空メールを送信すると、折り返し登録手続きのメールが届きます。



QRコードが読み取れない場合は、
以下のアドレスに送信してください。

<妊娠期>
nakano@reg.kizunamail.com



QRコードが読み取れない場合は、
以下のアドレスに送信してください。

<子育て期>
nakano_kosodate@reg.kizunamail.com

【お問合せ】●子ども教育経営担当 ☎3228-5605

小林ぜんいち NEWS

KOMEITO 公明党

第19号

2015年12月発行
中野区公明党議員団



中野区議会の平成27年第4回定例会が11月26日から12月6日までの日程で開催され、
日頃から地域の皆様より頂きました生活に身近な課題を基に、一般質問を行いました。

熱きハートで、区政を改革 小林 ぜんいち

■「平成28年度予算要望書」を田中大輔中野区長に提出

平成27年8月下旬から10月にかけて、平成28年度中野区予算編成に向けた要望をうかがうため、
各種団体と懇談会を開催しました。懇談会では、今後のまちづくりをはじめ区政の発展へ期待の
お声や、区内団体のさらなる活躍の場を望む要望が多くありました。一方で様々な配慮を必要と
する区民への支援や取り組みについて、公明党へ期待する声を強く感じました。

その上で11月19日、田中大輔中野区長へ「平成28年度予算要望書」の提出をしました。これには
平成28年度の予算編成にあたり、平成28年度は新しい中野をつくる10か年計画第3次のスタート
年度であり、区役所・体育館改築計画、
中野駅周辺まちづくり、西武新宿線沿線
まちづくり、学校再編等のプロジェクト
が前進し、さらに文化・芸術の推進、高齢
者や障害者などへ福祉の充実、子育て・
教育環境の整備など、暮らしに直結する
課題を重点項目として23項目にまとめ
要望しました。



小林 ぜんいち

■議会役職等

公明党議員団副幹事長
議会運営委員会副委員長
区民委員会委員
区役所及び体育館整備調査特別委員会委員
中野区土地開発公社評議員
中野区民生委員推薦委員会委員

■経歴

宮本忠長建築設計事務所東京事務所に
16年勤務、TAF設計事務所に勤務。
住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等
設計監理や住宅設計等に従事。

■所属団体等

(社)日本建築学会正会員
(社)東京建築士会正会員
福祉住環境コーディネーター協会会員
マンションリフォームマネージャー
日本防災士会会員
早稲田大学稲門建築会会員
中野稲門会会員
中野区長野県人会副会長

HOME PAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

サイトURL
<http://kobayashizenichi.com/>
ブログURL
http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi
Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi
Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

中野区議会 議会報告 平成27年 第4回 定例会



一般質問 (2015.11.27)

質問項目

1.中野のまちづくりについて

1) 国家戦略特区規制緩和策について

- ①:中野区グローバル都市戦略のまちづくりについて
- ②:区役所・サンプラザ地区再整備に伴うまちづくりについて
- ③:中野の文化・芸術・産業の拠点整備について

2) 国家戦略特区規制緩和策「滞在施設の旅館業法の適用除外(民泊)」について

- 3) 街並誘導型地区計画の導入について
- 4) 子育てのしやすいまち 中野について

2.健康で安心して暮らし続けられるまち なかのについて

- 1) 区民の健康づくりと長寿社会のまちづくりについて
- 2) スマート・ウェルネス・コミュニティ(SWC)について

3.地域支援について

- 1) 地域支えあいネットワークの今後の展開について
- 2) 地域包括ケアシステムと地域の担い手について
- 3) 町会・自治会活動への支援について

4.建築・防災行政について

- 1) 杭打ちデータ流用を受けての対応について
- 2) 初期消火資機材・スタンドパイプの拡充について

小林ぜんいち 平成27年 第4回定例会 一般質問

中野区グローバル都市戦略のまちづくりについて



小林 区は、「中野区グローバル都市戦略(たたき台)」において、中央線沿線を軸とした東京西部都市圏における自治体間の文化・産業連携を構築していくことが述べられていますが、どのように考えているか。

区長 都心と多摩をつなぐ立地を活かし、中央線沿線を軸とした東京西部都市圏の広域連携においてリーダーシップを発揮し、文化振興や観光推進、新産業創出等により圏域経済の活性化をけん引していきたい。

中野の文化・芸術・産業の拠点整備について



小林 グローバル都市にふさわしい、中野を代表する発信力のアール・ブリュット振興に中野はもっと取り組むべきと考えるが。

区長 表現・文化活動の推進は、中野の都市観光にとって重要なものであり、アール・ブリュットは貴重な芸術コンテンツであると考え。情報発信や各種団体に対する情報提供等を通じ、アール・ブリュットの振興を支援していきたい。

「滞在施設の旅館業法の適用除外(民泊)」について



小林 海外からの観光客を受け入れるため、国家戦略特区における滞在施設の旅館業法の適用除外、いわゆる「民泊」を活用する自治体が増えている中、区も「民泊」を誘導できないか。

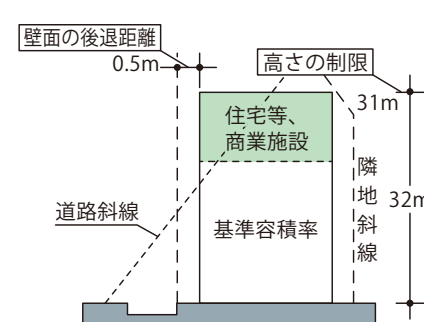
区長 制度の活用により、海外からの誘客や滞在期間の延伸、消費拡大が期待されることから、その活用について検討している。

街並誘導型地区計画の導入について



小林 「中野駅南口地区まちづくり方針」では、駅前商店街を中心とした地域・B地区について、地元商店街や町会の意向を把握し調整した上で、街並誘導型地区計画の策定を行い、新たなまちづくりを行うべきではないか。

区長 今後、権利者の意向を踏まえつつ、提案のような計画なども含め検討していきたい。



子育てのしやすいまち 中野について



小林 中野駅南口の東京都住宅供給公社中野住宅の建て替え計画が進む、他区に例のない特色ある子育て支援などの施設を併設出来るよう要望してはどうか。

区長 区としてどのような施設を誘致していくべきか、子育て支援施設を含め検討し要望する。

小林 子育て支援の充実とともに、相手のニーズに対応したきめ細かな支援ができるよう、区役所庁舎3階で行われている「子ども総合相談窓口」に「子育てコンシェルジュ」を配置してはどうか。

区長 保育や子育てサービスなどに精通した職員を「子育てコンシェルジュ」として配置し、これまで以上にきめ細やかな相談や情報提供などの対応を行ってきたい。

区民の健康づくりと長寿社会のまちづくりについて



小林 スポーツ・コミュニティ・プラザでも、全世代の多くの区民が足を運んで利用して頂くきっかけや動機づけ、施設の魅力付加の一つとしてサロン交流機能の場づくりに併せて、「足湯」「手湯」の導入をしてはどうか。

区長 「足湯」「手湯」の導入は、サロン交流機能のひとつとして、検討していく。

小林 健康づくり・介護予防のために、カラオケを活用した声出しや健康体操を、「高齢者会館」や、社協で展開している「まちなかサロン」などを活用して実施してはどうか。

区長 誰もがなじみやすいカラオケをツールとした健康づくり・介護予防の取り組みに付いて、積極的な展開を検討していく。

地域支えあいネットワークについて



小林 地域支えあいネットワークの開始から4年が経過し、今後は包括的な地域ケア体制の構築が始まる中、さらに持続可能な仕組みとしていくために、担い手の増加について積極的に取り組む必要がある。あまり活動に関わってこなかった方にも、参加出来るよう支援を行うべきではないか。

区長 見守り、支えあい活動に取り組む町会・自治会の役割や意義を地域の方々に紹介するとともに、例えば「誰にでもできる見守りガイドブック」などを作成し、新たな参加者の獲得を図っていく。

町会・自治会活動への支援について



小林 区政の最前線である区民活動センターに配置された職員が、地域の人に頼りにされながら役割を発揮することは、結果として町会・自治会の負担を軽減させる事につながる。地域に配属する区職員の、地域づくりに寄与できるよう役割整理、体制充実を図ってはどうか。

区長 今後、町会・自治会など、区と地域との橋渡しなど地域づくりのためのコーディネーター役として役割を強化していきたい。

小林 地域センター時代は、職員が地域の方々とふれ合うことにより、人材育成の場にもなっていた。次世代を担う職員の人材育成の観点からも配置を考えるべきでは。

区長 今後は、一定の経験年数に達した職員のローテーション職場に位置付けるなど、人材育成を考慮した人事配置を検討する。

初期消火用資機材・スタンドパイプの拡充について



小林 大型消火器は重く、実際の使用機会も少ないため、代わりにスタンドパイプの配備を充実させていくべきではないか。

区長 大型消火器は原則廃止とし、補完手段としてスタンドパイプや街頭消火器を拡充していく。

小林 全防災会にスタンドパイプを配備したことから、今後スタンドパイプを使用した訓練を各防災会で気軽にできるよう、訓練の促進を区でも図っていくべきと考えるが。

区長 防災会連絡協議会や避難所運営会議などの機会をとらえ、スタンドパイプの更なる周知と訓練の促進を図っていく。



今までの大型消火器



スタンドパイプ スピンドルドライバー、ホースなどがセットになっています。車輪付きで軽いうえ移動も簡単です。

